

PART 7aaa

「なんかこの子、嫌がってるように見えるけど?」

「いやいや、こういうプレイが好きなんですよ」

「本当? それならいいんだけど。無理やりやらせてるんだったら、警察呼びますからね」

「……」 (警察なんて呼ばないで!)

「本当に露出狂なんですよ。ほら、仲居さんが見てるから脚をがばっと開いてみせろ」

(いやあ、こんなの!) 《肉棒を啜えたまま脚を大きく開く》

「ひええ、恥ずかしい穴が二つとも丸見え! 啜えたままで丸出しにするなんて、本当に変態ねw」

「んぐ、ぬぐうう」 (見ないで!)

「AVならどうして撮らないの?」

「もちろん撮りますよ、アソコもアナルもw」

「んん、んううっ」 (だめ、撮らないで!)

「嬉しいんでしょ? 脚閉じたら警察呼ぶわよ」

「この子ね、女子アナの翠川舞に激似なんですよ」

「そういえばさっきのお客さんも女子アナに似てたわね。まあ、あの子はどう見ても素人だけど」

「……」(もし仲居さんにバレたら通報される！)

「おい、口が遊んでるぞー！」

「ちよつとお手伝いしましょうかw」

「触ってあげてください」

「……っ！ んぐうう」

《仲居に秘部を弄られ、くぐもった悲鳴をあげる舞》

「あら、可愛いお尻振っちゃって、嬉しそうw」

「ん、んんう、んぐうう」

「お、い、いいぞ、舞ちゃん」

「よし、そのままイカせるんだ！」

「ん、んう、ああんっ！ い、いやああー！」

《渾身の力で身体を起こし、肉棒から口を離す舞》

《逃げようと立ち上がりかけた舞を男優が後ろから掴み、横たわった自分の身体の上に逆さに乗せる》

「先に舞ちゃんにイッてもらいます!」

「あそこ丸出しでクンニ責めか、いい画だな。いくところ、ばっちり撮ってやるからな」

「い、いやあっ! あ、あん、ああんっ」

「あなた、さっきのお客さんよね? バスタオル取ってもらった時は恥ずかしそうにしてたけど」

「それも演技ですよ。本当は嬉しいんですよ。な?」

「は、はい」 (今はそういうことにしないと)

「じゃあ、いく時に、お名前と、いくことを大声で言ったら露出狂って信じてあげる」

「よかったな…ほらほら」 《秘部をしゃぶる男優》

「あ、あっ、あん…翠川舞、いくう、いきますっ!」

《クンニで絶頂に達し、失神する舞》

「女子アナ翠川舞の初絶頂ショー、撮れました！」

「いつもは澄ましてニュース読んでるくせに、派手に
いっっちゃうなんてw」

「女将さんも喜んでますよ。翠川舞さんがヌードで温
泉を宣伝してくれるなんて」

「仲居さん、名演技だったね」

「皆様、お得意様ですからねw」

《拍手と歓声で盛り上がっている客室》

「さすがAV界のエリートスタッフ！」 「まさか舞

ちゃんが本当に全裸になって、フェラして、絶頂し
てくれるなんて」 「監督、ありがとうな」 「先輩、

本当に気持ちよさそうでしたねw」 「この動画、

売ったらいくらになるかな？」 「当面は裏だけで

な」 「番組で流したら視聴率すごいだろうなw」

《数分後、ようやく目を開いた舞》

（え、私、どうして?…） 《ぼうっとした表情》

「お、やっと起きたか」 「大胆なイキ方ねえw」

「ウチはそういう温泉じゃないんだけど。困るわ」

「これで彼女がAV志望と認めてもらえましたか？」

「でも、本人から聞かないとねえ」

「ほら、挨拶しなさいよ！」

《膝をピシヤリと叩く》

「…私は、エッチなことが大好きで、AVに出たいです」

（ああ、早く終わって）

「ふーん…美人なのに、もの好きねえ…」

「これで信じてもらえますよね？」

「でも、もし違ったら温泉が訴えられちゃうし…」

「それじゃあ、アソコをぱっくり開いて、ぜーんぶ録画されながら宣誓させたらどうですか？」

「たしかに、そんな証拠があったら安心だけど」

「分かりました！」 「パツクリですね、よいしょー！」

「え？ ちよ、ちよっと待って！……きやああっ！」

《二人の男に両側から抱えられ、持ち上げられる舞》

「きやあ！ やめて、下ろして！」

「騒ぐなよ、手伝ってやってんだぞ」

「はい、パツクリ！」 「舞ちゃんだいたーんw」

「きやあああつっ」

「じっくり撮ってやるから。こっちを見る！」

「いやあ、撮らないでえ！」

「なんか、本気で嫌がってるみたいだけど？」

「いやいや、こういうプレイなんですよ」

「早く、露出狂宣言しなさいよー」

「やっぱり無理です、こんなの！ お願い、許してください……」

「やっぱり無理やりされてたのね。警察呼ぶから、そう訴えるといいわ」

「……警察は呼ばないでください、お願いします……」

「はあ？ 一体どつちなのよ？」

「警察呼ばれて大事になって、実は自主的に露出してました、ってなったら困るのは君なんだぞ？」

「…分かりました。その、証拠の動画は絶対公開されないんですよね？」

「もちろんよ。 適当な頃合いを見て削除するわ」

「それじゃあ、無理やりと誤解されないように、自分からはじっくり開いてみる」

「え？」

《自らまんぐり返しを指示され、逡巡するも結局指示に従った舞》

「よし、ぱっくり開いたアソコと、尻の穴とおっぱいと、可愛い顔が全部映ってるぞ」

「ほら、こう言うのよ。舞さんのフリしてね…」

「…私、ハニートVのアウンサー、翠川舞は、実は裸を見られるのが大好きな露出狂です。今日は温泉でこっそりAVの体験取材をしています…」

（ああ、全部、録画されちゃってる…）

「ふふふ、分かったわ、本当に露出狂みたいねw」

「それじゃあ、警察は呼ばないんですね？」

「うーん、だけど、さつき男のアレを啜えてたのが無理やりじゃないって証拠はまだ無いわよね…」

「そんな…」（どこまで私を辱めるつもり!）

「じゃ、Wフェラでも録画しようか」「いいね、お〇ん〇ん大好き!」って言いながらw」

《男優2人が舞の両側から口元に肉棒を突きつける》

「え? ま、待って!」

「確かに、それは普通の人じゃできないわね」

「舞ちゃん、もうひと頑張り、できるよな?」

「握っただけで啜えなくていいからさ」

「…はい…翠川舞、お〇ん〇ん、だ〜い好き!」

「舌出して舐める振りをして、笑顔でこう言うのよ」

「…Wフェラ、とっっても嬉しいです!」

「いいねえ。アングル変えるから、そのまま待ってて」

「そんな! あの…、トイレ、行きたいんですけど」

「トイレ？ 逃げるつもりでしょ？」

「違います！ 本当に行きたいんです、お願いします」

「ならここでしろよ。撮ってやるからw」

「そ、そんな！」

「今日は他にお客様いないから、特別に許可しますよ」

「露出狂の変態の証拠にもなりますねw」

「露出狂にふさわしい場所は…あの岩に登れ！」

「そんな！ お願いします、普通のトイレに…」

「言う通りにしないと警察呼ぶわよ」

「ああ、こんなの……」



《仕方なく岩の上に登った舞》

「もじもじするな。ぱかっと開いておしっこするんだ」

「お願いします、録画だけは許してください…」

「駄目よ。はっきりした証拠ができるだけほしいの」

「露出狂なんでしょ、もったいぶらないでよw」

「カメラの方を向いてしなかつたら警察呼ぶからな」

「週刊誌にも教えちゃおうかな。翠川舞のそっくりさんが温泉でWフエラしてたってw」

「わ、分かりましたから…」

《正面のカメラを見ながらしやがみ、脚を開く舞》

(本当に、これは現実なの?.....)

「ぼーっとするな。はい、スタート!」

「え、待ってください!.....出ません」《出そうだが、カメラを向けられ体が固まっている》

「分かった、一旦撮るのをやめるから早くしろ」

「え、は、はい!.....」《ほっとして体が緩む》

「あっ、駄目!.....」《股間から尿がほとばしる》

「おお、出た!」 「翠川舞の放尿シヨーw」

「よし、撮るぞ!」

「ひどい! 駄目ですっ、あああ!.....」 《我慢してた尿が止まらず、脚を閉じられない》

「あはは、AVでも新人は普通できないわよw」

「あらあら、本当に変態さんなのねえw」

「にっこり笑ってカメラを見るんだよ!」

「ひどい！撮らないって言ったじゃないですか」

「いったん撮るのやめるって言ったただけだぞ」

「あなた、本当は嫌なの？ なら警察に…」

「…いえ、本当は好きです…」（早く止まって…）

「嫌がるプレイなんだw」「じゃあ笑わなきゃね」

「おしっこしながら、ご挨拶してもらおうよw」

「もう、許してください…」

「放尿しながら言われてもなw」「これもプレイね」



《口上を命令され、抵抗したが結局逆らえない舞》

「翠川舞です。今日から○○温泉の裏イメージガールを
務めさせていただきます。ご挨拶に、温泉の名物の滝
をバツクにおしっこをしています！」

「あはは、最高」「本当に翠川舞みたい」「笑って公開
放尿はしないでしょw」「よし、よく撮れてるぞ」

《ようやく舞の尿が止まる》

「はい、よく分かったわw」「部屋まで送ってやるよ」

《ようやく解放された舞。但し、服は禁止され、紐水着だけで廊下を歩いて部屋に戻る様子を撮影される…》

「すみません、急に仕事の電話が来ちゃって、先に部屋に戻って…きやあ、どうして水着なんですか？」

「後から入ってきた人が貸してくれて…気に入ったから、水着のまま帰ってきたの」(通報されたら、恥ずかしい写真と動画を公開されちゃう…)

「意外と大胆ですね…ずいぶん長いお風呂でしたね」

「うん、ちよつと気持ちよくて寝ちゃって…」

「気をつけた方がいいですよ、変な人がいたら何されるかわかりませんよ」(いろいろされてましたねw)

「そうよね…あの、この格好、撮ってくれるかな？」(部屋での水着姿を送信するように命令するなんて…)

「え？ いいですけど、先輩、変わった趣味ですねw」(局に戻ってからが楽しみ…ちよつと可哀想w)



使用したプログラム・素材等

- 本作品は、ILLUSIONの「ハニーセレクト ～コンプリートパック～」を使用して作成しています。 (http://www.illusion.jp/preview/honey_party/index.php)
- また、イリュージョン公式ページに投稿のキャラデータやシーンデータを活用しています。その他、個人HPに掲載の服なども使用しています。各作者の方に感謝いたします。
- 本作品のコンテンツの著作権は ILLUSIONに帰属し、販売等は認められていません。転載・販売等を行わないようお願いします。